

## 令和3年9月定例教育委員会会議録

令和3年8月27日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市役所303会議室に招集する。

### ○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太

### ○ 出席事務局

教育次長	鯨井 敏朗
教育総務課長	長谷川 和博
学校教育課長	爪川 由美子
社会教育課長	三友 孝二
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主任	吉場 美和

## 13時55分 9月定例教育委員会開会

教育長から、令和3年9月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。

教育長から、傍聴希望者がいないことの確認があった。

8月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長が、本日の会議録の署名人に、松島委員を指名した。

教育長から、報告第9-4号及び議案第33号・第34号の追加提出があることが報告された。

教育長から、人事案件等の理由から、報告第9-4号と全ての議案（議案第32号は採決部分のみ）を非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開とすることに決定した。

### **日程第1（報告第9-1号）寄附申出について**

教育総務課長から、奥原晴湖作の日本画等を熊谷図書館に、妻沼地区に関する写真集を妻沼展示館に、それぞれ寄附申出いただいたとの報告があった。

また、市内小・中学校への寄附では、教育環境の整備のためとして、江南中学校に現金100万円を、コロナ禍で頑張っている小・中学校への教育振興のためとして、籠原小学校、三尻小学校、三尻中学校の3校にサッカーボール計60個を、寄附申出いただいたとの報告があった。

### **日程第 1（報告第 9－2号）9月教育委員会行事予定について**

教育総務課長から、次回の10月定例教育委員会について、開催日は10月1日（金）、会場は現在調整中であるとの報告があった。

学校教育課長から、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内の全小・中学校について、8月31日（火）から9月17日（金）までの期間を分散登校とし、9月21日（火）から通常登校にするとの説明があった。また、9月に予定していた運動会・体育祭や、くまなびスクールは、10月以降に調整して実施していくこと、9月末から始まる中学校の新人体育大会については、上位大会（県大会）が開催されることから、本市予選会は予定どおり実施すること、「子供を守るためのワクチン接種」の状況として、学校従事者1,096人が、8月5日（木）から8月22日（日）までに1回目が終了し、8月26日（木）から9月12日（日）までに、2回目の接種を行う予定となっていること等が報告された。

（質疑）

加藤委員から、分散登校の方法について質疑があり、学校教育課長から、小学校は通学班での登校となるため、地区ごとの分散とし、2分割や3分割にして、2日に1回の登校、3日に1回の登校で、おおむね午前中に3時間授業を実施する学校が多いこと、また中学校では、学年による分散や学級を2分割にしての分散登校であるとの回答があった。

### **日程第 1（報告第 9－3号）9月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について**

教育総務課長から、9月市議会定例会における教育委員会関連の議案等について報告があった。

まず、報告案件として、前回の定例教育委員会で承認された「令和3年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」を、市議会に報告するとの説明があった。

次に、議案として、成田小学校と星宮小学校の統合のための「熊谷市立学校設置条例の一部を改正する条例」の条例改正と、市内中学校で発生した校舎のガラス窓の落下事故における損害賠償に関する専決処分報告について、説明があった。

最後に、補正予算として、歳出では、本年度から本格実施となったGIGAスクール構想事業のICT支援員を増員するための経費、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった修学旅行のキャンセル料を補助するための経費、寄附金100万円を活用し、全小・中学校に防犯カメラを設置するための経費を、歳出補正し、歳入では、歳出で説明したGIGAスクール構想事業のICT支援員増員の経費に対する国庫補助金等について、歳入補正するとの説明があった。

### **(その他) 後援等承認決定した事業について**

教育総務課長から、7月16日から8月15日までに、後援等承認決定した事業が12件あったとの報告があった。

### **日程第1 (報告第9-4号)**

(非公開)

### **日程第2 (議案第32号) 第17採択地区中学校教科用図書(社会(歴史分野))について**

学校教育課長から、本議案は、自由社の「新しい歴史教科書」が文部科学大臣の検定を経て、新たに発行されることに伴い、令和2年度における採択の理由や検討の経緯等を踏まえ、令和4年度から使用する中学校教科用図書(社会(歴史分野))について、採択替えを行うか否かの判断をするものであるとの説明があった。

現在、本市で使用している東京書籍の教科書は、課題を「つかむ」「追究する」「解決する」という構成になっており、基礎・基本的な技能を定着させるための「スキル・アップ」や、身に付けた技能を活用する「読み取る」「まとめる」などのコーナーが設けられ、興味関心を持ちながら学習に取り組むことができる。

また、單元ごとの学習の流れが明確に把握でき、歴史に対する「見方・考え方」が適宜設けられ、主体的に学ぶ力を養いながら学習に取り組めるようになっていることや、第2～7章の導入とまとめのページには、「政治」「経済・社会・文化」「東アジア」「欧米など」を横断的に見ることができる年表があり、歴史の流れを多面的・多角的につかみやすくなっていること等が説明された。

自由社の教科書は、見開きを1単位時間として、導入、学習課題、本文、「チャレンジ」で構成されており、ページ下段に、本時で扱うおおよその時期を可視化した「歴史モノサシ」が設けられている。章末「復習問題のページ」では、各章で重要語句や地図問題を設け、既習内容が定着できるように工夫されていることが説明された。

「東京書籍」は、まとめのコーナーにより、知識・技能の基礎基本の習得状況を確認できるようになっていることに加え、「もっと歴史」のコーナーでは、生徒の興味・関心を引くようなテーマが多く用意されており、生徒が意欲的に学習に取り組めるような構成になっている。

以上の理由から、採択替えは行わず、令和4年度以降も引き続き、「東京書籍」を使用することとしてよいか伺う旨の説明があった。

(採決部分は非公開)

(議案は原案どおり可決)

**日程第 2 (議案第 29 号、第 30 号、第 31 号、第 33 号、第 34 号)**

(非公開)

(議案は原案どおり可決)

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 3 年 9 月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14 時 50 分 閉会)

署名                      教育長                      野原                      晃

委員                      松島                      佳代子